

平成27年度市民活動助成事業 審査結果

平成27年度 市民活動助成事業（スタート助成）

優先順位	団体名	事業名	採択の適否	助成金額(円)	付帯意見又は理由
1	河原塚史編纂委員会	河原塚史編纂事業	適	77,400	—
2	五番街ふれあいセンター	「カレーを食べる会」事業	適	100,000	【付帯意見】 助成事業終了後においても、事業を継続できるように経費節減を図るとともに、昼食会の参加者が開催者と一緒に配膳や片付けを行うなど、可能な限り参加者と共に活動を支える工夫をしてほしい。
3	東日本大震災復興支援 松戸・東北交流プロジェクト	伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験の講演会・ワークショップ事業 Part2	適	100,000	【付帯意見】 減災マップ作成のワークショップの際にはその地域住民の参加を募り、その成果が地域の住民に還元されるよう配慮してほしい。
4	松飛台自治会連合会	認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり事業	適	100,000	—
5	昔のあそびと遊ぼう会	けん玉で遊ぼう事業II	適	97,000	—
6	認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会	外国人の子ども支援を考える事業	適	100,000	【付帯意見】 助成事業実施後の展望を明確にしたうえで、事業を実施するとともに、講座の参加者だけでなく、より多くの市民に事業で得られた成果を伝え、共有できるよう、取り組んでほしい。
7	食の安全安心を考える市民の会	知っておくと安心！食品の安全な取り扱い手帳を市民に手渡ししたい～講演会の実施等～事業	適	100,000	—
—	RKUファイヤーファイターズ	地域防災向上事業	否	—	【不採択理由】 課題に取り組む姿勢は評価できるものの、具体的な事業内容（パンフレット及び講演会の内容）が不明確であるため。 【付帯意見】 大学生ならではの視点や被災地でのボランティアの経験を盛り込めば、既存のものとは差別化され、特徴のあるパンフレットの作成が可能であると史料される。
—	ランニングをもっと楽しむネットワーク	生涯スポーツの普及及び振興と健康な体づくり事業	否	—	【不採択理由】 健康寿命について着眼した点は、これからの高齢社会に鑑みると、重要であり、意義を感じるものの、事業内容及びその成果に、多くの人に波及するような公益性が認め難いため。 【付帯意見】 市内のランニングサークル等の団体やスポーツクラブ等の民間企業との連携を図りながら、広く市民へ周知されたい。

—	一般社団法人 あなたらしく・今を 生きよう	子育て中のお母さんを 元気にする癒し事業	否	—	【不採択理由】 支出の多くを占めるアロマスプレーづくりの費用は、公金を支出することを考慮すると、本来、受講者が負担することが望ましい。また、子どもに対する保育面での体制が不明確であり、セルフケアを継続して行える仕組みやその展望が、本提案事業から見出せないため。
—	介護・認知症の家族 と歩む会・松戸	介護する人の笑顔 介護される人も笑顔に～ 気づき～ご用聞きプロジェクト事業	否	—	【不採択理由】 介護の当事者が課題を見出し、広く市民に周知している点は評価できるが、提案された事業内容が多岐に渡っており、拡散し、具体性が欠けていたため。
—	NPO法人Lily Of The Valley	青少年及び市民の普及 啓発事業	否	—	—

平成27年度 市民活動助成事業(ステップアップ助成)

優先 順位	団体名	事業名	採択の 適否	助成金額 (円)	付帯意見又は理由
1	認定特定非営利活動 法人たすけあいの会 ふれあいネットまつど	団塊シニア世代の地域 デビュー事業	適	300,000	【付帯意見】 社会で活躍する同世代の話の方が参加者の士気も高まるため、対象である「団塊シニア世代」と同世代の方を講演会の講師に呼ぶことも検討してほしい。
—	認定NPO法人 東 葛市民後見人の会	市民後見人活動を通じた やさしい・助け合い の街づくり事業	否	—	【不採択理由】 高齢社会において、市民後見の制度が、今後地域で普及し、定着していくためには、必要な事業であると認められるが、松戸市内の地域の関連機関との連携について、具体性に欠けていたため。
—	まつど学びの旅推進 協議会	日帰り滞在型「“葵の 里”まつど散策マップ の作成」事業	否	—	【不採択理由】 今年度実施しているマップ作成の進捗状況に鑑みると、来年度の事業の実現可能性に疑義が生じ、また、提案の主眼である散策マップと既存の類似したガイドマップ等との違いが不明確であったため。 【付帯意見】 「まつど学びの旅ウォーク」の内容を充実させ、「学び」を重視した事業展開を期待する。